

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2018年8月8日

上場会社名 株式会社タカギセイコー 上場取引所 東
 コード番号 4242 URL http://www.takagi-seiko.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八十島 清吉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 林 延幸 (TEL) 0766-24-5522
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	13,390	18.9	434	△19.3	351	△17.2	117	△58.1
2018年3月期第1四半期	11,265	13.1	537	25.4	424	58.5	279	126.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △50百万円(-%) 2018年3月期第1四半期 69百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	43.08	ー
2018年3月期第1四半期	102.89	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	42,118	9,791	16.5
2018年3月期	43,712	9,882	16.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 6,954百万円 2018年3月期 7,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
2019年3月期	ー				
2019年3月期(予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,760	8.2	1,130	5.0	950	0.2	420	△16.4	154.57
通期	52,920	2.0	2,470	△2.8	2,140	△6.6	1,060	△30.3	390.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	2,759,172株	2018年3月期	2,759,172株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	42,071株	2018年3月期	41,952株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	2,717,121株	2018年3月期1Q	2,718,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 当第1四半期決算短信より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

※ 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位に変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組み替えて表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績と雇用環境に支えられ、引続き回復基調が続きました。海外におきましては、米国では企業の設備投資と個人消費が堅調に推移している一方で、中国やEUとの通商政策における問題が顕在化しており、日本経済に及ぼす影響が不透明な状況にありました。

このような状況の中、当社グループは「国内収益基盤の強化」、「海外収益基盤の強化」、「事業運営基盤の強化」の3つの大方針を柱とする事業施策を推進し、厳しい事業環境の中においても安定して継続的に事業展開できる企業を目指しております。具体的な取り組みの一部としましては、生産拠点の整備と能力拡充を目的として、新湊・福光両工場での最新鋭塗装ラインの新設を進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,390百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。損益面では、主に固定費増加等により、営業利益は434百万円（前年同四半期比19.3%減）、経常利益は351百万円（前年同四半期比17.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円（前年同四半期比58.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

売上高は、成形品事業の受注数量の増加、その他事業の販売数量の増加等により、7,402百万円（前年同四半期比13.9%増）となりましたが、主に減価償却費等の固定費の増加により、営業損失は71百万円（前年同四半期は営業利益26百万円）となりました。

② 中国

売上高は、車両分野における生産能力増強に伴う受注数量の増加、OA分野における堅調な受注等により、3,735百万円（前年同四半期比23.7%増）となりましたが、営業利益は、製品構成の変動、人件費等の固定費の増加により、335百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

③ 東南アジア

インドネシア・タイにおける受注数量の増加等により、売上高は2,251百万円（前年同四半期比29.0%増）となり、営業利益は増収効果等により、154百万円（前年同四半期比91.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、42,118百万円と、前連結会計年度に比べ、1,593百万円減少となりました。

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、20,990百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,777百万円減少しました。これは、売上債権の減少(1,090百万円減)、たな卸資産の減少(592百万円減)が主な要因であります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、21,127百万円となり、前連結会計年度末と比べ183百万円増加しました。これは、建設仮勘定の増加(318百万円増)の一方、その他の有形固定資産の減少(123百万円減)が主な要因であります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、21,181百万円となり、前連結会計年度末と比べ859百万円減少しました。これは、仕入債務の減少(438百万円減)、賞与引当金の減少(336百万円減)が主な要因であります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、11,145百万円となり、前連結会計年度末と比べ643百万円減少しました。これは、長期借入金の減少(1,039百万円減)が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、9,791百万円となり、前連結会計年度末と比べ、90百万円減少しました。これは、利益剰余金の増加(89百万円増)、為替換算調整勘定の減少(131百万円減)が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績につきましては、2018年5月14日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,753	4,557
受取手形及び売掛金	10,802	9,539
電子記録債権	931	1,103
たな卸資産	4,875	4,283
未収入金	676	691
その他	731	817
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	22,768	20,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,740	3,664
機械装置及び運搬具(純額)	4,483	4,789
土地	6,716	6,630
リース資産(純額)	2,459	2,358
建設仮勘定	429	748
その他(純額)	1,053	930
有形固定資産合計	18,882	19,121
無形固定資産		
ソフトウェア	113	111
のれん	35	32
その他	133	130
無形固定資産合計	282	274
投資その他の資産		
投資有価証券	997	989
出資金	248	245
破産更生債権等	96	96
繰延税金資産	226	206
その他	354	337
貸倒引当金	△143	△143
投資その他の資産合計	1,779	1,731
固定資産合計	20,944	21,127
資産合計	43,712	42,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,233	4,862
電子記録債務	3,976	3,909
短期借入金	3,062	3,248
1年内返済予定の長期借入金	3,667	3,658
リース債務	1,544	1,431
未払法人税等	225	187
賞与引当金	638	301
役員賞与引当金	18	9
その他	3,675	3,573
流動負債合計	22,041	21,181
固定負債		
長期借入金	7,078	6,039
リース債務	653	638
役員退職慰労引当金	221	180
退職給付に係る負債	3,628	3,615
その他	207	670
固定負債合計	11,788	11,145
負債合計	33,830	32,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,104	2,104
資本剰余金	1,807	1,807
利益剰余金	3,041	3,131
自己株式	△54	△54
株主資本合計	6,899	6,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△110	△118
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	249	117
退職給付に係る調整累計額	△22	△36
その他の包括利益累計額合計	117	△34
非支配株主持分	2,864	2,836
純資産合計	9,882	9,791
負債純資産合計	43,712	42,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	11,265	13,390
売上原価	9,431	11,545
売上総利益	1,833	1,844
販売費及び一般管理費	1,295	1,410
営業利益	537	434
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	13	13
作業層売却収入	10	15
その他	19	28
営業外収益合計	45	62
営業外費用		
支払利息	119	101
為替差損	19	27
その他	19	15
営業外費用合計	158	144
経常利益	424	351
特別利益		
固定資産売却益	4	3
投資有価証券売却益	52	—
特別利益合計	56	3
特別損失		
固定資産除却損	4	13
投資有価証券評価損	14	—
特別損失合計	18	13
税金等調整前四半期純利益	463	342
法人税等	95	138
四半期純利益	367	203
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	86
親会社株主に帰属する四半期純利益	279	117

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	367	203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△8
繰延ヘッジ損益	4	1
為替換算調整勘定	△255	△231
退職給付に係る調整額	2	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△5
その他の包括利益合計	△298	△253
四半期包括利益	69	△50
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70	△35
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法等によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	6,500	3,020	1,744	11,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100	96	1	199
計	6,600	3,117	1,746	11,464
セグメント利益	26	385	80	493

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	493
セグメント間取引消去	44
四半期連結損益計算書の営業利益	537

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	7,402	3,735	2,251	13,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	157	62	0	220
計	7,560	3,798	2,251	13,610
セグメント利益又は損失 (△は損失)	△71	335	154	419

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	419
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の営業利益	434

(重要な後発事象)

該当事項はありません。